

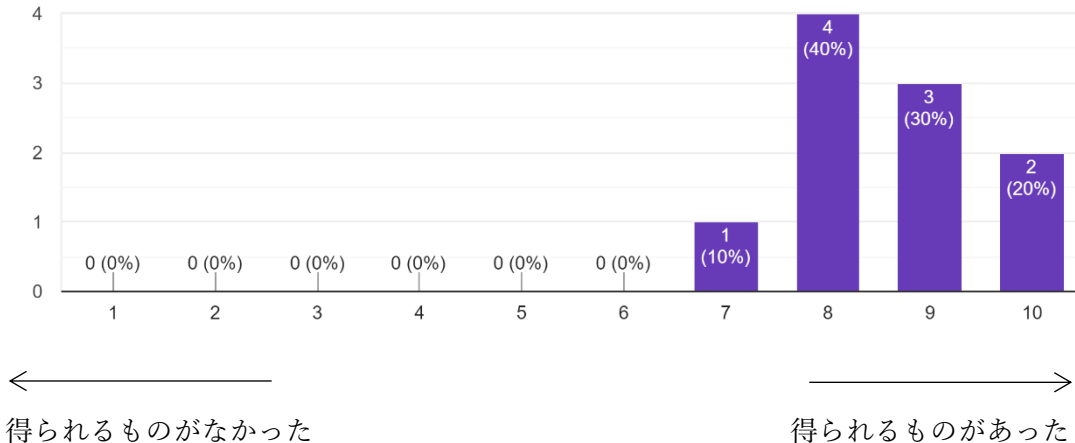
## MOT2020 第2日目 講義レポート（2020年8月22日開催）

回答人数 10名

### 1. 佐相先生の講義について

#### （1）講義「英国式イノベーションと日本文化」

10件の回答



#### （2）上記理由、印象深かった点、気づいた点、さらに知りたかった点

- ・関西人との共通点があるというのが、とても印象的でした。
- ・昨今イノベーションという言葉が安易に用いられますが、定義や種類、英国との共通点や比較などのご説明により、イノベーションに対する理解が深まりましたし、国内でのイノベーションの難しさの要因も分かったように思います。一方で、英国だけではなく、欧米や中国、アジア新興国等の比較一覧があると、世界での位置づけについての理解がより深まったと思いました。
- ・非常に参考になりました。英国との文化・地形含め改めてあのように日本と比較してものは初めてでしたので気付きになりました。
- ・英国と日本とで圧倒的に違うのは外国からの投資、という点が印象に残りました。日本への投資の魅力が少ないのだと思いますが、その原因についてもう少し掘り下げて考えてみたいと思いました。
- ・また、どのようにしてイノベーションが生まれるのか、ということに関して日本では6割が個人の才能によって生まれると考えているが、世界ではその逆でプロセスが大事だと考えている、という点が興味深かったです。
- ・文化の違いから、共通点、様々な気付きを得られました。
- ・これまであまりイギリスのイノベーションについて触れる機会がありませんでしたので、新鮮でした。そのうえで、日本・米国との共通点、相違点がまとめられており、非常にわかりやすかったです。日本とイギリスは似ているところもあるものの、実績という面

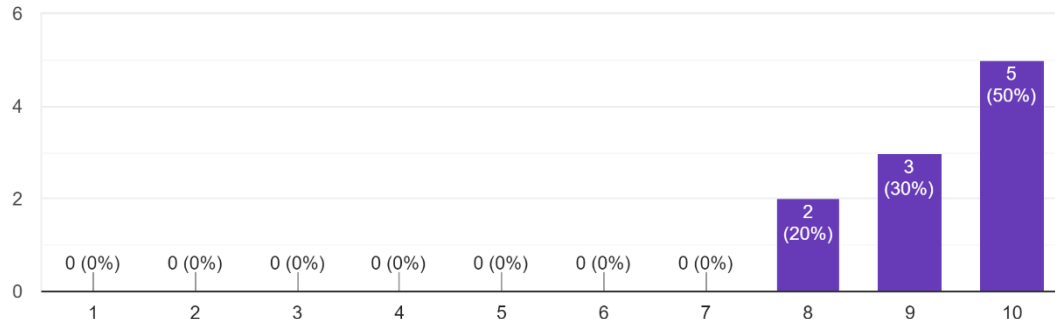
で大きく差が開いてしまっていますので、そのギャップをどのようにして埋めるのか、破壊的イノベーションを社会の中でどのように容認していくかが日本の課題であると感じ、そのためにはどのようにすべきか興味が湧きました。

- ・米国的、英国的、日本式的イノベーションの違いについて学ぶことができ、勉強になりました。イノベーションというと、米国的のワンマン型を想像していたため、英国的の「プロセスに従うことでイノベーションは起こる」という考えは非常に興味深く、日本が目指すべき形であるという点も納得できました。
- ・両国の文化背景を踏まえた内容でわかりやすかった。
- ・イノベーションの定義や仕組み
- ・TOP 企業の変遷がその企業だけでなく世相も関わっていて、世相が追いついてきたことによって、イノベーションが加速したような印象を受けました。
- ・Customer Designability という概念は今までなかったもので、もう少し深く知りたかったです。
- ・イギリスと比較することで日本の内向き志向に何が足りなかったのか、日本=自分に置き換えて、感じることができました。

## 2. 祇園先生の講義について

### (1) 講義「デザイン思考入門」

10件の回答



←

得られるものがなかった

→

得られるものがあった

### (2) 上記理由、印象深かった点、気づいた点、さらに知りたかった点

- ・アイデアの分類を単に特徴で分けるのではなく違う視点から分けるのが頭を使って楽しかったです。
- ・盛りだくさんの内容でハードな講義でしたが、先生の明るいお人柄もあり、非常に楽しく参加させていただきました。マインドセットの違いは勉強になりましたし、デザイン思考の奥深さと難しさを体験でき、大変有意義でした。今後の参考にさせていただきたいと思います。
- ・直接メールにて感想入れております。宛先を取り敢えず森先生と祇園先生に絞ったもので

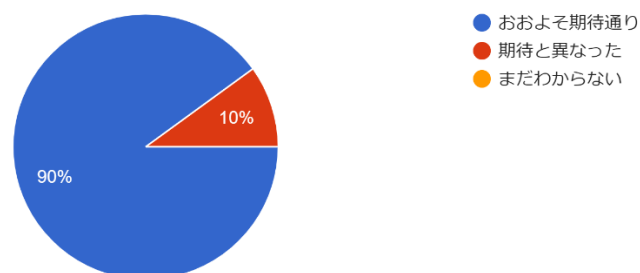
別便にて味村様へも共有致します。

- ・デザイン思考についてこれまで単語を聞いたことはありましたが、内容について今回基礎を学ぶことができたので大変勉強になりました。最も印象に残ったのは、「自分のバイアスがどこにあって、それをいかに外すかが重要だ」という点です。それを行うためには、いろいろな角度から物を見る訓練が必要でかなりタフな作業で柔軟な頭が必要だと思いました。正解のない課題について、行ったりきたりを繰り返しながらゴールに近付いていく、というのは現在の仕事そのものだ、と思い、デザイン思考のアプローチは参考になります。
- ・前回にも祇園先生の講義を受けて、2回目というのもあり、理解が深まりました。
- ・これまでデザインの思考に触れる機会はありませんでしたので、今回の講義で十分に吸収することはできませんでしたが、きっかけになったと思います。時間的制約から残念ながら全体像の把握・自身の中での理解は十分ではなかったと思いますが、今回をきっかけに自信の生活にも活かしていくことができればと思います。
- ・思考法について学ぶだけでなく、実際にグループワークを通して、思考法から新たな着眼点が生まれることを実感できました。今後、問題解決の方法を考えていく上で非常に有効な手段であると感じるとともに、他の思考法についても学び習得していきたいと思いました。
- ・1～2時間の講義では難しいでしょうが、講義資料にあって、当日触れられなかった内容にも興味あります。
- ・社内でも月に1回アイデア会議を行っています。一部デザイン思考を取り入れているのですが、体系的に学べたことは良かったです。
- ・以前にバイオデザインというタイトルで同様のセミナーを受講しました。通常何日かかるコースを丸1日で概略を知るという内容でしたが、それを1時間足らずに圧縮しているにも関わらず、より深く理解することができました。特に問題提議からプロトタイプ、テストの各ステップのどこから入ってもいいということ、必ずできるという信念が必要なこと、大学のボードの写真が印象に残りました。特にボードの写真については、誰にでもオープンにしているところ。誰からでもアイデアを受け入れているように見受け、この精神が画期的なアイデアを生むのかな、と想像が膨らみました。

### 3. 第2日目全体のご感想

(1) 2日目の受講を終えて、全体の感想はいかがでしたでしょうか？

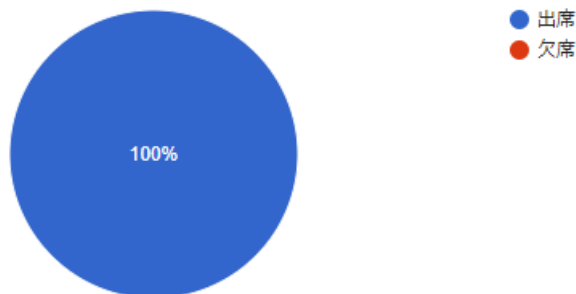
10件の回答



(2) 上記の理由

- ・大変勉強になりました。自分の知識が増えていくのが体感できました。
- ・色々な観点や専門性の講座が今後も続くと思うので期待しています
- ・期待していた通りにいい内容でした
- ・イノベーションの起こし方についての講演や、思考法についての講演と、求めている内容でした。講義も面白く、期待以上の内容でした。
- ・オンラインであっても、求めている情報は得られたから。
- ・期待以上でした。時間配分、内容の濃さ、質疑応答が簡潔で聞きやすかったです。

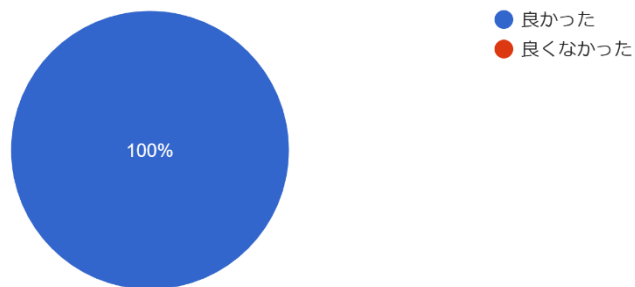
4. 次回9/19(土)の出欠について



5. 交流会について

(1) 今回の小グループ別の交流会はいかがでしたか？

8件の回答



(2) その理由をお聞かせください。

- ・京都の和菓子の話題で盛り上がれてとても楽しかったです。
- ・交流会には参加できませんでした。
- ・3-4人の交流が話しやすくてよかったです
- ・しかし、もう少し時間が欲しかったです。
- ・大人数では、webの仕組み上、発言できない人が多く出てしまうため、小グループに

分けた方が良かったかなと感じました。交流会時間は短く感じました。

- ・大グループより話やすいので
- ・交流会は良かったですが、グループに分けてしまうと顔が見えません（これは講義中も同じ）。なので、顔が見える形で交流会を設定いただくと非常にありがたいです。
- ・年齢の幅がだいぶあったようですが、オンラインで声だけでしたのでむしろ気にせず話をする事ができたと思います。自己紹介(和菓子)を話しのネタに盛り上がったことも印象的でした。

## 6. ご要望、ご感想

(1) 他のセミナー情報や講義関連の追加情報でお知りになりたいことがあればおかし  
<意見なし>

(2) 事務局へのご要望、講師へのコメント

- ・提出遅れて申し訳ありません。
- ・次回も、事前に資料を共有いただくと大変助かります。どうぞよろしくお願い申し上げます。
- ・はやくコロナが落ち着いて FaceToFace の講義となるよう祈るばかりです。
- ・事務局へ：2回目と合って、オンラインでのストレスはあまりなく、スムーズに参加できました。ありがとうございます。ただ、1点だけ気になることがあります。ミュートにしている方が一人おられると聞きづらいため、毎回アナウンスして、確かめてから開始していただくと助かります。あと、パスワードのメモがどこかに行っちゃって、誠に申し訳ございませんが、次回開始前にもう一度口頭でお聞かせいただけますでしょうか。
- ・講師の先生方へ：過去を振り返ると、イノベーションと行かなくても、ヒット商品を創出できなかったのですが、その理由が自分なりに理解できました。その一方で、自分の活動や考え方の一部は講義の中のイノベーションの創出マインドに当てはまる部分もあり、なんとなくですが、これまでの活動を整理、位置づけできるような気がして、勇気づけられた感じがしました。ありがとうございます。またお会いする機会があれば、ディスカッションできるようにスキルアップしておきたいと思います。

以上